（表）

様式第３号（第５条関係）　　別紙６

伊達市農業委員会農地利用最適化推進委員応募用紙

年　　月　　日

農業委員会長

農業委員会等に関する法律（昭和２６年法律第８８号）第１９条第１項に基づき、伊達市農業委員会の農地利用最適化推進委員に応募します。

１　応募をする者

住　所	**伊達市青葉町１－１**		性別※	（男）　女
ふりがな	**だて　たろう**	（伊達）	年　齢※ 生年月日	年齢〇〇歳 **昭和〇〇年〇月〇日**
氏名※	**伊達　太郎**			
職業※	業　種　・　勤務先名称　・　勤務地区 **農　家**　伊達　梁川　保原 霊山　月舘		本　人 連絡先	**024-577-1111**
経歴※	**昭和６１年より農業経営開始、以降、専業農家**			
農業経営状況※	１　経営形態（専業）・　兼業　・　自家消費　・　非農家　） ２　耕作面積（田**５００**ａ　・　畑**６００**ａ）（所有地**５００**ａ　・　借地**６００**ａ） ３　従事日数（**３００**　日）　　４　受託作業（　**水田作業３００**ａ） ５　主な生産品目（　**米、モモ、リンゴ**　）			
応募の理由※	応募理由は裏面へ記載してください。			
希望担当区域※（〇で囲む）	※複数の区域も希望可能ですが、その際は優先順位を余白に明記ください。 1　2 （伊達区域）・梁川区域・（保原区域）・霊山区域・月舘区域			
農業委員への推薦又は応募の有無※	有　・（無）			

（注）応募者に関する※印の情報は、農業委員会等に関する法律の規定に基づき、市ホームページ等で一定期間公表されます。

（裏）

２　応募の理由

項　　目	応　募　理　由
農業経営・栽培技術、または地域活動	**私は、本地域の果樹栽培において、長年にわたり習得した技術を、若手農業者へ指導し、技術の継承と品質向上に努めて参りました。** **また・・・**
農地利用最適化推進委員としてどのような活動が期待できるか	**私は、若手の農業者の指導とともに、地域の環境保全団体の役員として地域活動にも傾注し、遊休農地の解消に努めて参りました。** **また・・・**
その他	**私は、**